

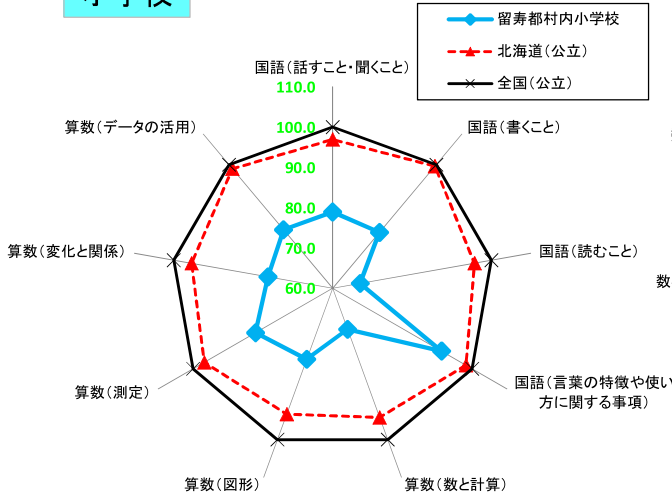
■留寿都村内の状況及び学力向上策（小学校数:1校、児童数:19人）（中学校数:1校、生徒数:17人）

【教科全体の状況】

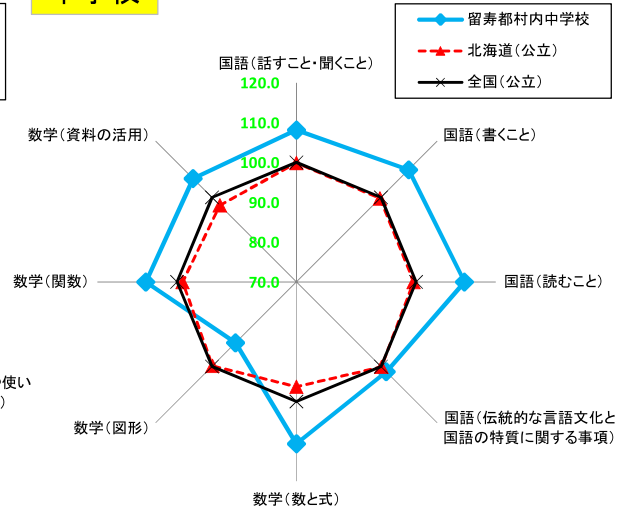
教科の領域等別に全国を100とした場合の全道及び市町村の状況をレーダーチャートで示したものを（市町村の平均正答率÷全国（公立）の平均正答率×100で算出）

平均正答率	小学校	中学校
国語	53	69
算数・数学	54	60

小学校

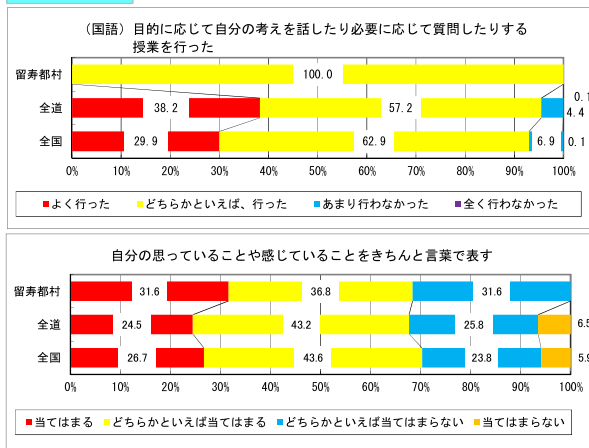


中学校

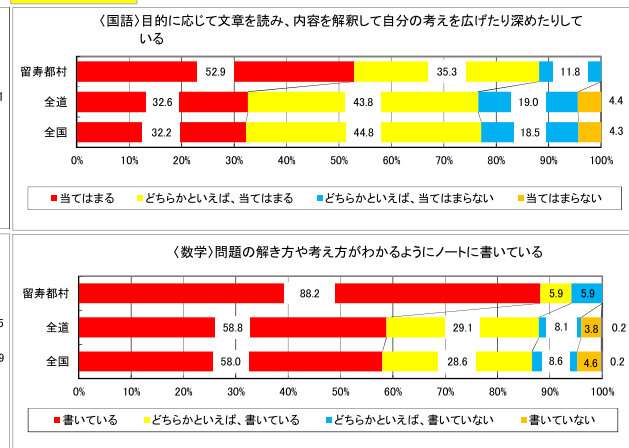


【質問紙の状況】

小学校



中学校



【上記結果の考えられる要因の分析】

小学校

国語の指導において、目的に応じて自分の考えを話したり必要に応じて質問したりする授業を行ったことにより、自分の思っていることや感じていることをきちんと言葉で話す児童の割合が多くなったと考えられる。

中学校

国語の指導において、目的に応じて文章を読み、内容を解釈して自分の考えを広げたり深めたりする授業を行ったことにより、国語の全ての領域・事項において全国及び全道を上回ったと考えられる。

数学の指導において、問題の解き方や考え方が分かるようなノート指導を行ったことにより、数学の3領域において全国及び全道を上回ったと考えられる。

【留寿都村の学力向上策】

- ◎ 問題データベースタブレットドリルを導入し、学習用端末を持ち帰り、家庭学習での活用を推進
- ◎ 学習用端末を有効活用するため、公民館に学習室を設置して中学生を対象に「放課後等まなびサポート」の実施
- ◎ 教職員による自己評価や保護者、生徒アンケート等の学校関係者評価による教育活動全体の点検・見直し